



## 道南 Today

### 木古内 | C開通

# 松前へ高規格道「早期に」

【松前、木古内】函館・江差自動車道の北斗茂辺地インターチェンジ（IC）―木古内IC間が3月26日開通し、渡島西部地域では木古内以西の道路整備について関心が高まっている。落石や波が道路に押し寄せる「越波」などで通行止めになることが多い白神地区を抱える松前町では、木古内―松前間をつなぐ高規格道路「松前半島道路」の早期着手を求めつつ、迂回する国道（防災道路）整備を望む声も上がっている。

（久保吉史）

木古内町の道の駅「みそぎの郷きこない」では木古内IC開通後1週間で、開通前の前週の2倍超となる約1万9千人が訪れ、開通効果が表れている。

3月26日に木古内町で行われた開通式。鈴木直道知事は「木古内から江差までの間と、松前半島道路の早期着手に取り組んでいく」とあいさつ。立憲民主党道連代表の逢坂誠二衆院議員（道8区）も「住民の命を守るという観点から松前道路の安全性をどうやって確保していくのか大きな課

題」と声を張った。木古内、知内、福島、松前の4町と函館、北斗両市は2014年、松前半島道路建設促進期成会（会長・工藤寿樹函館市長）を設立し、松前町―木古内IC間約60キロの高規格道路の早期整備を国に要望してきた。函館開発建設部によると、松前半島道路の整備は現在「調査中」で、事業化は未定だ。

## 推進会「町の未来かかっている」

松前町内では昨年8月、商工会や観光協会など町内の民間15団体で「松前半島道路整備促進推進会」（熊谷喜久夫会長）を設立し、産業や経済の振興、災害時の避難路や救急搬送時間の短縮など「住民の安全・安心な暮らしを守る路線」として整備を求めている。背景には、荒天に伴う越波、崖地が崩れるなどで国道228号が度々通行止めになった経緯がある。全面通行止めは直近10年間で8回。昨年7月には白神覆道の天井コンクリート片が落下して通行止めとなった。

## 町「迂回の防災道路を優先」

を優先する。自動車専用道路では人が歩けない」と述べ、渡島西部の首長もこの方針を確認している。

一方、推進会会長の熊谷喜久夫松前商工会長（71）は渋い表情だ。「白神地区に防災道路はつくってほしいが、半島道路を諦めていない。松前町の未来がかかっている」と高規格道路の延伸に期待を込める。

松前町の人口は6416人（3月1日現在）。高齢化率は52.2%と道内で2番目に高い。さくらまつりやマグロまつりなどイベント観光への地域経済の依存が大きく、新型コロナウイルス下でここ数年はさらに疲弊している。議会からも「半島道路ができれば函館空港から70分程度。企業誘致の面でも半島道路が必要だ」との声は強い。

木古内ICは1994年度の事業化から28年を要し、仮に木古内以西の事業化が決まっても完成には長い年月が見込まれる。石山町長は「防災道路ができれば、その先をどうする」という議論になっていく。半島道路を求めるのはその時。今、二兎を追ったらず敗しかねない」としている。

崖地の崩落や落石などで度々、国道が通行止めとなってきた松前町白神岬付近―本社へりから、桶谷駿矢撮影





年 組 名前

---

# 道新でワークシート

①記事の最後（傍線部）に「二兎を追ったら失敗しかねない」とあるが、このような状況を表すことわざに、「二兎を追う者は、 」というものがある。空欄の部分を答えなさい。（ひらがな可）

②右の図は、赤色の部分が荒天時に通行止めとなった場合の、う回路を黄色で示したものである。記事を読み、この図の黄色のう回路は、松前町の人々にとってどのような点が問題とされているか。記事の中の言葉を使って簡潔に答えなさい。

